

ブロッコリー選別自動収穫機開発に向けた品種選定

福島県農業総合センター 浜地域研究所

1 部門名

野菜—ブロッコリー—品種

2 担当者名

三田村敏正

3 要旨

開発中のブロッコリー選別自動収穫機は、花蕾をカメラで判別し収穫するため、外葉で花蕾が隠れると収穫率が低下することから、花蕾の隠れがより少ない品種が求められる。そこで、現行品種の中から花蕾の隠れ状況を調査した結果、「アーリーキャノン」が最も花蕾の隠れが少なく、次いで「令麟」、「おはよう」が少なかった。

- (1) 浜地域研究所のほ場において、2022年は「アーリーキャノン」「SK9-099」「沢ゆたか」「ピクセル」、2023年は「アーリーキャノン」「令麟」「おはよう」「プライム」「ルミナス」について花蕾の隠れ状態を調査した。
- (2) 2022年（データ省略）、2023年ともに「アーリーキャノン」が花蕾の隠れなし（外葉による花蕾の隠れが30%未満、図1左）が95%以上であり、「令麟」が94.3%、「おはよう」が87.5%であった（図2）。



図1 ブロッコリーの花蕾の隠れ状態

左：花蕾の隠れなし（アーリーキャノン）
右：花蕾の隠れあり（ルミナス）

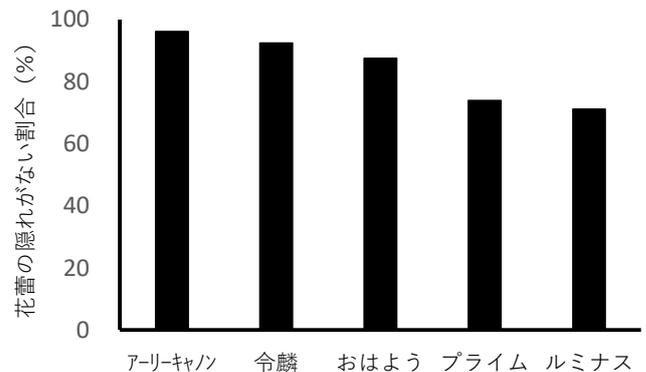


図2 各ブロッコリー品種の花蕾の隠れ状況

※2023年8月22日に定植し11月から12月に収穫した。
※外葉による花蕾の隠れが花蕾全体の30%よりも少ないものを「隠れなし」として計算した。
※株間は35cm、畝間は機械の収穫幅に合わせて65cmとした。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和4～6年度
- (2) 研究課題名 スマート農業プロセスイノベーション推進事業〔戦略的スマート農業技術等の開発・改良〕

5 主な参考文献・資料 なし